

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月1日

上場会社名 株式会社マルハニチロホールディングス

上場取引所 東

コード番号 1334 URL <http://www.maruha-nichiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 五十嵐 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長

(氏名) 川 文人

TEL 03-3216-0821

四半期報告書提出予定日 平成22年2月8日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|--------|-------|-------|------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第3四半期 | 638,224 | △9.8 | 10,963 | △35.8 | 8,622 | △6.1 | 4,301 | — |
| 21年3月期第3四半期 | 707,789 | — | 17,073 | — | 9,180 | — | △281 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第3四半期 | 8.33 | 7.20 |
| 21年3月期第3四半期 | △0.71 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第3四半期 | 550,253 | 80,523 | 12.1 | 108.91 |
| 21年3月期 | 521,459 | 77,910 | 12.3 | 103.69 |

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 66,452百万円 21年3月期 63,973百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | — | — | 3.00 | 3.00 |
| 22年3月期 | — | — | — | — | — |
| 22年3月期 (予想) | — | — | — | 3.00 | 3.00 |

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|------|--------|-------|-------|------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 850,000 | △5.3 | 13,000 | △16.3 | 9,000 | 11.4 | 3,500 | — | 6.43 |

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 508,574,884株 21年3月期 508,574,884株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 329,545株 21年3月期 296,002株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 508,258,319株 21年3月期第3四半期 502,610,219株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスク等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は6ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 第一種優先株式 | | | | | |
| 21年3月期 | — | — | — | 20.00 | 20.00 |
| 22年3月期 | — | — | — | | |
| 22年3月期 (予想) | | | | 20.00 | 20.00 |
| 第二種優先株式 | | | | | |
| 21年3月期 | — | — | — | 24.43 | 24.43 |
| 22年3月期 | — | — | — | | |
| 22年3月期 (予想) | | | | 22.70 | 22.70 |

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に持ち直しの動きが見られるものの、デフレ基調のなか、企業収益は減少を続け、雇用・所得環境も悪化するなど、依然として厳しい状況で推移しました。

当社グループ関連業界のうち、水産・食品業界におきましても、景気の先行き不安感から消費マインドは急激に冷え込むなど、一段と厳しい経営環境となっています。

このような状況のもとで、当社グループは、マルハとニチロの経営統合効果の追求を始めとする中期三カ年経営計画「ダブルウェーブ21」の目標達成に注力してまいりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、価格低迷の影響を受け、売上高は638,224百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益は10,963百万円（前年同期比35.8%減）、経常利益は8,622百万円（前年同期比6.1%減）となりましたが、特別損失で前年同期に減損損失及び商品在庫関連損失など3,885百万円を計上しておりましたことから、前年同期から大きく改善した結果、四半期純利益は4,301百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

水産事業

水産セグメントは、国内外の漁業・養殖事業、すりみの生産販売を中心とした北米事業、海外調達ネットワークを持つ水産商事事業、市場流通の役割を担う荷受事業、市場外流通を受け持つ戦略販売事業から構成され、国内外の市場動向に注視しながら、お客様のニーズに対応した効率的な仕入と販売を行い、収益の確保に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間は、平成20年秋のリーマンショックに端を発した米国発金融不安以降、未だ出口が見えないデフレ経済の加速とそれに伴う消費の更なる落ち込み、高単価商材の販売低迷と、厳しい事業環境が続きました。

漁業・養殖事業では、まき網事業における漁獲不振と魚価下落、また養殖事業における単価安により減収減益となりました。北米事業では主要魚種である助宗原料の小型化による下級品すりみの増加、フィレ減産、また更に欧米市場の低迷により減収減益となりました。水産商事事業では引き続き冷え込んでいる消費マインドによる販売価格の下落、高単価商材の販売鈍化と低単価商材の重点販売に伴い減収減益となりました。荷受事業では、取り扱い数量の減少と魚価の下落に伴い減収減益となりました。戦略販売事業では消費低迷により減収も、経費削減を進めたこと、また原材料価格の低下に伴い収益性が向上したことにより減収増益となりました。以上の結果、水産セグメントの売上高は405,514百万円（前年同期比11.7%減）、営業利益は1,564百万円（前年同期比85.5%減）となりました。

食品事業

食品セグメントは、市販用及び業務用の冷凍食品の製造・販売を行う冷凍食品事業、缶詰・魚肉ソーセージ・ちくわ・デザート・ペットフードなどの製造・販売を行う加工食品事業、畜産物及び飼料を取り扱う畜産事業、化成食品・調味料・フリーズドライ製品の製造・販売を行う化成食品事業並びにアジア・オセアニア事業から構成され、お客様のニーズにお応えする商品の開発・製造・販売を通じて収益の確保に努めました。

当第3四半期連結累計期間については、厳しい経済情勢を背景とした消費マインドの冷え込みにより売上は低迷しましたが、原材料価格の低下やコスト削減などにより、利益面では改善が見られました。

冷凍食品事業では、国内工場生産品の販売が順調だったことに加え、平成21年春発売の“あけぼの華炒麺（ハナチャオメン）”などの新商品が好調に推移したことから、増収増益となりました。加工食品事業では、缶詰においては生産拠点の再編、アイテム集約等コスト削減施策により収益構造の改善に努めるとともに、健康を意識した“ゼリーdeゼロ”等機能性ゼリーが順調に推移しましたが、魚肉ソーセージやちくわにおける価格競争が厳しく、全体としては減収増益となりました。畜産事業では、食肉の消費停滞と国内過剰在庫による市況低迷が影響し、減収減益となりました。化成食品事業では、調味料の新規商材の拡販に注力したほか、フリーズドライ製品の販売、健康食品等の輸出が好調なことから、増収増益となりました。また、アジア・オセアニア事業では、タイにおける生産工場の冷凍食品は堅調に推移したものの、缶詰が景気低迷の影響から伸び悩みましたが、主原料価格の低下やコスト削減により、増益となりました。以上の結果、売上高は212,287百万円（前年同期比6.3%減）営業利益は10,882百万円（前年同期比42.0%増）となりました。

保管物流事業

消費低迷の影響により貨物の荷動きが鈍い状況が続きましたが、畜産品や冷凍食品に注力した営業活動を行い集荷につとめ、前年並の入庫量を確保いたしました。また、輸配送事業や通関事業などの周辺事業にも積極的に取り組んだ結果、売上高は11,683百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は1,192百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

その他の事業

売上高は8,739百万円（前年同期比16.6%減）、営業利益は167百万円（前年同期比78.2%減）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりです。

日本

デフレ基調のなか、冷え込む消費マインドとこれに伴う高単価商材の販売鈍化、低単価商材の重点販売による粗利の減少により、売上高は586,334百万円（前年同期比8.9%減）、営業利益は12,516百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

北米

貧漁による操業コスト上昇、また助宗原料小型化によるフィレ減産と下級品すりみ増加により売上高は27,704百万円（前年同期比16.6%減）、営業損失は451百万円となりました。

ヨーロッパ

取り扱い高が大幅に減少したことにより、売上高は1,729百万円（前年同期比63.5%減）、営業損失は38百万円となりました。

アジア

タイにおける生産工場の缶詰が景気低迷で伸び悩んだものの、コストの削減及びマレーシアにおける養殖エビの販売好調により増益となり、売上高は20,918百万円（前年同期比13.7%減）、営業利益は1,753百万円（前年同期比88.1%増）となりました。

その他の地域

売上高は1,538百万円（前年同期比30.2%減）、営業利益は147百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は550,253百万円となり、前連結会計年度末に比べ28,794百万円増加いたしました。これは主として季節要因等による売上債権の増加によるものであります。

負債は469,729百万円となり、前連結会計年度末に比べ26,180百万円増加いたしました。これは主として季節要因等による仕入債務の増加及び借入金が増加したことによるものであります。

少数株主持分を含めた純資産は80,523百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,613百万円増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、手元資金並びに借入により得られた資金を、主として設備投資等に使用した結果、当第3四半期末には22,625百万円と前連結会計年度末に比べ1,335百万円増加いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は1,730百万円（前年同期は22,544百万円の支出）となりました。これは、前年同期に比べ、たな卸資産の増加額が減少したこと等によりです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、主に設備投資によるもので、7,165百万円となり、前年同期に比べ1,016百万円増加いたしました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は6,627百万円となり、前年同期に比べ24,307百万円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月19日に公表いたしました平成22年3月期の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末におけるたな卸高算出については、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 23,619 | 22,485 |
| 受取手形及び売掛金 | 127,591 | 93,858 |
| 有価証券 | 3,112 | 0 |
| 商品及び製品 | 99,678 | 98,703 |
| 仕掛品 | 13,753 | 12,447 |
| 原材料及び貯蔵品 | 16,558 | 18,598 |
| 短期貸付金 | 2,455 | 1,492 |
| 繰延税金資産 | 5,054 | 6,417 |
| その他 | 11,487 | 14,971 |
| 貸倒引当金 | △976 | △2,135 |
| 流動資産合計 | 302,335 | 266,839 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 51,644 | 54,136 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 26,598 | 25,742 |
| 土地 | 64,001 | 64,081 |
| 建設仮勘定 | 3,199 | 3,330 |
| その他(純額) | 1,992 | 2,020 |
| 有形固定資産合計 | 147,436 | 149,312 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 19,206 | 20,193 |
| その他 | 7,914 | 8,253 |
| 無形固定資産合計 | 27,120 | 28,446 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 27,604 | 31,644 |
| 長期貸付金 | 14,882 | 15,493 |
| 繰延税金資産 | 15,346 | 14,417 |
| その他 | 27,606 | 26,193 |
| 貸倒引当金 | △12,081 | △10,888 |
| 投資その他の資産合計 | 73,359 | 76,861 |
| 固定資産合計 | 247,917 | 254,620 |
| 資産合計 | 550,253 | 521,459 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 45,407 | 35,426 |
| 短期借入金 | 211,495 | 204,486 |
| 未払法人税等 | 2,213 | 1,422 |
| 引当金 | 1,201 | 2,243 |
| その他 | 34,357 | 32,300 |
| 流動負債合計 | 294,675 | 275,879 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 134,834 | 129,122 |
| 繰延税金負債 | 6,058 | 5,302 |
| 退職給付引当金 | 26,806 | 25,283 |
| その他の引当金 | 395 | 394 |
| その他 | 6,958 | 7,566 |
| 固定負債合計 | 175,053 | 167,670 |
| 負債合計 | 469,729 | 443,549 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 31,000 | 31,000 |
| 資本剰余金 | 35,780 | 44,722 |
| 利益剰余金 | 9,054 | △2,424 |
| 自己株式 | △58 | △54 |
| 株主資本合計 | 75,776 | 73,243 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,396 | △1,415 |
| 繰延ヘッジ損益 | △23 | △52 |
| 為替換算調整勘定 | △7,903 | △7,802 |
| 評価・換算差額等合計 | △9,323 | △9,269 |
| 少数株主持分 | 14,070 | 13,936 |
| 純資産合計 | 80,523 | 77,910 |
| 負債純資産合計 | 550,253 | 521,459 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 707,789 | 638,224 |
| 売上原価 | 613,621 | 553,383 |
| 売上総利益 | 94,167 | 84,841 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売手数料 | 5,854 | 6,209 |
| 保管費 | 6,266 | 6,384 |
| 発送配達費 | 13,707 | 12,983 |
| 広告宣伝費及び販売促進費 | 3,444 | 3,399 |
| 従業員給料 | 17,201 | 16,708 |
| 法定福利及び厚生費 | 3,479 | 3,312 |
| 退職給付費用 | 2,694 | 3,071 |
| 減価償却費 | 1,229 | 1,278 |
| 研究開発費 | 694 | 542 |
| のれん償却額 | 948 | 929 |
| その他 | 21,571 | 19,058 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 77,093 | 73,877 |
| 営業利益 | 17,073 | 10,963 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 375 | 247 |
| 受取配当金 | 929 | 845 |
| 持分法による投資利益 | — | 284 |
| 雑収入 | 873 | 1,281 |
| 営業外収益合計 | 2,178 | 2,658 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,474 | 3,819 |
| 為替差損 | 3,382 | 33 |
| 持分法による投資損失 | 481 | — |
| 雑支出 | 1,733 | 1,146 |
| 営業外費用合計 | 10,072 | 4,999 |
| 経常利益 | 9,180 | 8,622 |

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) |
|-------------------|--|--|
| 特別利益 | | |
| 前期損益修正益 | 101 | 6 |
| 固定資産売却益 | 357 | 129 |
| 貸倒引当金戻入額 | 76 | 171 |
| 事業整理損失引当金戻入額 | — | 622 |
| 事業譲渡益 | — | 492 |
| その他 | 155 | 91 |
| 特別利益合計 | 690 | 1,514 |
| 特別損失 | | |
| 前期損益修正損 | 76 | 5 |
| 固定資産処分損 | 576 | 282 |
| 減損損失 | 1,031 | 192 |
| 投資有価証券評価損 | — | 856 |
| 商品在庫関連損失 | 970 | — |
| その他 | 1,230 | 156 |
| 特別損失合計 | 3,885 | 1,493 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,984 | 8,642 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,533 | 2,256 |
| 法人税等調整額 | 468 | 1,363 |
| 法人税等合計 | 5,002 | 3,619 |
| 少数株主利益 | 1,263 | 721 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △281 | 4,301 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,984 | 8,642 |
| 減価償却費 | 10,485 | 10,474 |
| 減損損失 | 1,031 | 192 |
| のれん償却額 | 948 | 917 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 1,203 | 41 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 978 | 1,507 |
| 事業整理損失引当金の増減額 (△は減少) | — | △670 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,305 | △1,093 |
| 支払利息 | 4,474 | 3,819 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 856 |
| 事業譲渡損益 (△は益) | — | △492 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △31,723 | △33,784 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △21,440 | △487 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 8,905 | 10,132 |
| その他 | 1,707 | 2,445 |
| 小計 | △18,749 | 2,500 |
| 法人税等の支払額 | △3,795 | △770 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △22,544 | 1,730 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2,986 | △30 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 4,585 | 3 |
| 子会社株式の取得による支出 | — | △173 |
| 子会社出資金の取得による支出 | △24 | — |
| 事業譲渡による収入 | — | 617 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △9,626 | △8,378 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1,192 | 428 |
| 貸付けによる支出 | △1,445 | △1,340 |
| 貸付金の回収による収入 | 976 | 870 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,314 | 1,281 |
| その他 | △133 | △444 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,149 | △7,165 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 31,145 | △1,581 |
| 長期借入れによる収入 | 42,770 | 41,146 |
| 長期借入金の返済による支出 | △36,700 | △26,695 |
| 配当金の支払額 | △1,722 | △1,752 |
| 少数株主からの払込みによる収入 | 30 | 20 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △217 | △454 |
| 利息の支払額 | △4,283 | △3,772 |
| その他 | △87 | △283 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 30,934 | 6,627 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 285 | 142 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 2,525 | 1,335 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 21,176 | 21,289 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 23,702 | 22,625 |

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

| | 水産事業 (百万円) | 食品事業 (百万円) | 保管物流 事業 (百万円) | その他の 事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------------------|---------------|---------------|---------------------|---------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 459,013 | 226,560 | 11,733 | 10,481 | 707,789 | — | 707,789 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 16,912 | 4,122 | 3,635 | 471 | 25,142 | (25,142) | — |
| 計 | 475,926 | 230,682 | 15,368 | 10,953 | 732,931 | (25,142) | 707,789 |
| 営業費用 | 465,170 | 223,017 | 14,202 | 10,186 | 712,576 | (21,861) | 690,715 |
| 営業利益 | 10,756 | 7,665 | 1,166 | 766 | 20,354 | (3,280) | 17,073 |

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

| | 水産事業 (百万円) | 食品事業 (百万円) | 保管物流 事業 (百万円) | その他の 事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------------------|---------------|---------------|---------------------|---------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 405,514 | 212,287 | 11,683 | 8,739 | 638,224 | — | 638,224 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 13,854 | 4,156 | 3,823 | 429 | 22,264 | (22,264) | — |
| 計 | 419,368 | 216,443 | 15,506 | 9,169 | 660,488 | (22,264) | 638,224 |
| 営業費用 | 417,804 | 205,561 | 14,313 | 9,001 | 646,680 | (19,420) | 627,260 |
| 営業利益 | 1,564 | 10,882 | 1,192 | 167 | 13,807 | (2,844) | 10,963 |

(注) 1. 事業区分は主として内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分に属する主要製品

| 事業区分 | | 主要製品 |
|--------|---------------|-----------------------|
| 水産事業 | 漁業、魚介類販売業、荷受業 | 冷凍魚介・すりみ・鮮魚 |
| 食品事業 | 食品加工・販売業 | 缶詰・冷凍食品・魚肉ハムソーセージ・畜産物 |
| 保管物流事業 | 冷蔵倉庫業、運送業 | — |
| その他の事業 | 海運業ほか | — |

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | ヨーロッパ (百万円) | アジア (百万円) | その他の 地域 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------------------|-------------|-------------|----------------|--------------|---------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 643,411 | 33,203 | 4,737 | 24,231 | 2,204 | 707,789 | — | 707,789 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 3,038 | 24,825 | — | 8,022 | 1,380 | 37,266 | (37,266) | — |
| 計 | 646,449 | 58,029 | 4,737 | 32,253 | 3,585 | 745,055 | (37,266) | 707,789 |
| 営業費用 | 631,821 | 52,968 | 4,629 | 31,320 | 3,784 | 724,524 | (33,809) | 690,715 |
| 営業利益(又は営業損失) | 14,627 | 5,061 | 108 | 932 | △198 | 20,531 | (3,457) | 17,073 |

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | ヨーロッパ (百万円) | アジア (百万円) | その他の 地域 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------------------|-------------|-------------|----------------|--------------|---------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 586,334 | 27,704 | 1,729 | 20,918 | 1,538 | 638,224 | — | 638,224 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2,742 | 15,941 | 10 | 7,881 | 555 | 27,130 | (27,130) | — |
| 計 | 589,076 | 43,645 | 1,739 | 28,799 | 2,094 | 665,355 | (27,130) | 638,224 |
| 営業費用 | 576,560 | 44,096 | 1,777 | 27,045 | 1,946 | 651,427 | (24,166) | 627,260 |
| 営業利益(又は営業損失) | 12,516 | △451 | △38 | 1,753 | 147 | 13,928 | (2,964) | 10,963 |

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

北 米 : アメリカ

ヨーロッパ : イギリス、スイス、オランダ

ア ジ ア : タイ、中国、インドネシア、マレーシア、フィリピン

その他の地域 : マダガスカル、ニュージーランド

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

| | 北米 | ヨーロッパ | アジア | その他の地域 | 計 |
|---------------------------|--------|--------|--------|--------|---------|
| I 海外売上高 (百万円) | 34,794 | 17,465 | 14,997 | 4,971 | 72,229 |
| II 連結売上高 (百万円) | | | | | 707,789 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%) | 4.9 | 2.5 | 2.1 | 0.7 | 10.2 |

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

北 米 : アメリカ、カナダ

ヨーロッパ : ヨーロッパ諸国

ア ジ ア : アジア諸国

その他の地域 : アフリカ諸国、オセアニア諸国、中南米諸国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。